



NO.1120

2017.5.28

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二、四四五八
F 四三二、四四五七

「共謀罪」強行に強く抗議する！



怒りの集会に参加した市民 (道の駅) 19日午後6時

して共謀罪と戦争する国へと突き進んでいる」(民進党の平賀貴幸支部長)

「労働組合の運動も監視の対象にされる」(仲間ユニオンの上野さん)

「安倍政権の真の狙いは声を上げる市民を委縮させることにある」(共産党の松浦敏司委員長)

「現在でも警察による市民運動に対する監視が続いている」(ストップの会菊地宏さん)

「国民を弾圧する法律を許してはならない」(行政書士の佐藤正隆さん)と発言がありました。

「共謀罪」の審議が続く衆議院法務委員会採決が強行された19日(金)午後6時から「流水道の駅」の前で、『平和の願いを網走から』の市民団体の呼び掛けに100人を超えてる市民が集まり、怒りの声を上げました。

呼びかけ人の川原田英世さんは「一般の人は関係ないと言っているが、審議すればするほど、こんなにひどい法律はない、法案の中身を広く市民に知らせ、廃案にしよう」と呼びかけました。

「特定秘密保護法、集団的自衛権の閣議決定、盗聴法の拡大、戦争法、そ



キビタキ



署名に応じる親子 (コープサッポロ店前 20日)

名が集まりました。国会の審議はもちろん、テレビ新聞なども「共謀罪」について十分に報道していないこともあつて、まだまだ市民に法案の中身が知られていません。

会代表の山本玲子さんは、「急いでもっと多くの市民に法案の真実を知らせる事が必要です。リーフの配布など、運動を広げて頑張りましょう。」とこやかに話していました。

設立20周年記念講演会

オホーツク地域自治研究所

オホーツク地域自治研究所(理事長 美土路知之氏)は、5月20日(土)北見芸術文化ホールでオホーツク地域自治研究所設立20周年記念講演を行いました。

記念講演は岡田知弘氏(京都大学教授、日本地域



熱く語られた記念講演会

先日、ある方から「毎日新聞」の記事を見させていただきました。松尾貴史のちよつと違和感という記事で、『民進党の福島伸享衆議院議員が、まさに安倍昭恵氏と森友学園のズブズブの関係について質問したのに対し、安倍首相が「ズブズブの関係とか、そういう品の悪い言葉を使うのはやめたほうがいい。それが民進党の支持率にでている」と、まるで答えにならない回答をした。

自身夫婦ぐるみで不適切な関係であったことを何とか隠し通したいという焦りからでた抗弁だろうが、これもあまりにも下品ではないか。

第一、中身に正面から答えず、言葉尻を捕まえてなじることで時間を消費して答弁をしたふりをしているだけで、あまりにも不誠実だ」と。

私もテレビで、その場面を見ましたが全く同感で、安倍首相の答弁は品がなく不誠実で、聞いてもないことを延々と答弁にならないことを言いまくるなど聞きたくありません。

松浦有戦メモ



流水

北見市において「生健会」の第15回定期総会が開かれました。今回も議長をして

15年目の総会

北見市議二人による「漫画でわかる共謀罪」が上演されました。花見や山菜取りも、メモ帳やカメラ、鎌などを持参していたら共謀罪との事。「メールもラインも盗聴監視され、相談・計画しただけで犯罪者」の話に、みなさんビックリしていました。

▼この地に「生健会」が出来て15年になります。福祉に使うと言った消費税を3倍以上(2019年10月から)にし、年金400万円以下の人は、税金の申告無しで、介護医療費3割負担にしようという計画があります。年金も生活保護費も削り社会保障という言葉さえ「自己責任」に置き換えられようとしています。

悪政の限りを尽くすアベ政権、それこそ「共謀」して国民生活をスタスタにしています。弱者を犠牲にし、自分だけ生き延びようとする強者の姿が現れています。▼憲法9条2項に3項を追加して、自衛隊を明記、2020年までに施行すると宣言した安倍暴走首相と、戦争の尊い犠牲の中からつかみ取った主権在民、戦争放棄など「宝」の日本国憲法を暮らしに生かそうとする国民・市民とのまさに綱引きです。

▼4野党はじめ多くの立場の違いを超えて暴走ストップの運動に参加しましょう。北見生活と健康を守る会 網走班班長 神田 優